

# Choho

長崎大学広報誌 [チョーホー]  
Vol.37



## 表紙の話

今号からスタートした新企画「長大さるく」で片淵キャンパスの瓊林会館を訪れた、長大さるくチーム。長崎高等商業学校時代の洋館は、建物全体が歴史を感じさせ、独特の雰囲気を醸し出しています。館内に飾られた校舎の油絵に見入りながら、「なんだか、いつものキャンパスがこれまでと違って見えそう」とも。

長崎大学ホームページ

→ <http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

長崎大学

NAGASAKI UNIVERSITY

ISSN 1347-7994

Autumn

# Choho

長崎大学広報誌  
[チョーホー]

Vol.

37

特集

キャンパスの中の

# ニュージウム





特集

# キャンパスの中の ミュージアム

長崎大学は学びの場であるだけでなく  
「知の貯蔵庫」でもあります。  
扉を押し開けて、古い飾り棚をそっとのぞいてみると——  
そこには思いもよらない本物の宝物が  
淡い光を放ちながら  
整然と並んでおりました。

Museums of the campus



## 大学病院に刻み込まれた 150年間の〈先駆的な記憶〉

9月20日は、長崎大学病院の開院150周年記念日でした。1861年、オランダ人医師ポンペ先生によって、その前身「養生所」が開設されました。時は幕末。長崎の街を、坂本龍馬が高杉晋作が岩崎弥太郎が闊歩していた時代です。爾来、1945年の原子爆弾による壊滅という大きな試練を経て、今日まで150年。幾万の先達たちの汗と涙と夢が、“先駆的な記憶”として、今日の大学病院に刻み込まれているのです。今回の、東日本大震災とそれに続く原発事故による放射能汚染という大きな困難を抱えた福島県における、国際ヒバクシャ医療センターのスタッフを始めとした長崎大学病院教職員の見事な貢献ぶりは、



この“先駆的な記憶”と無縁ではありません。9月20日は、この記憶に思いを馳せる絶好の機会となりました。

大学病院に限らず、長崎大学は、他の大学にはない多くの貴重な記憶

を有しています。個性あふれる長崎大学。その源泉は、まさにこの大学の“先駆的な記憶”にあるのです。そして、その記憶を辿るための“よすが”が、キャンパス内のいたるところに現在も遺されています。温故知新。

折にふれて過去に思いを馳せ、この大学の個性をかみしめ、未来を想像する。素晴らしいことはありませんか。長崎大学に関わる全ての人々の特権です。長崎大学の記憶には、それだけの価値があるのです。

長崎大学長 片峰 茂

### CONTENTS

長崎大学広報誌  
「チョーホー」  
Choho  
Vol.37

本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報Choho〇号から」と明記してください。学外の方は、事前に広報戦略本部までご連絡願います。

特集 キャンパスの中のミュージアム	1
始動! 長大さるく「片淵キャンパス編」	13
グラバー図譜 「シマフグ」	16
温故知新 第5回 「シーボルト記念植物園」	18
インフォメーション	20
長崎大学「通」クイズ	21
編集後記	21



「大学ミュージアム構想」という言葉を聞いたことがありますか？ 大学を（知の集積地）と位置づけ、その貴重なコレクションを博物館のように展示して一般公開する——しばらく前、当時の文部省肝いりで進められたプロジェクトです。しかし国の予算で整備されたのは東京大学などいわゆる帝大系のみでした。一方、長崎大学にも貴重な資料が多く、その保存や活用は大きな課題となっています。これまでの経緯と大学ミュージアムの将来について、貴重な資料を管理している長崎大学附属図書館の姫野順一館長に、お話を伺いしました。

「長崎大学は日本の中でも歴史的にも古い大学なので、興味深い資料を数多く抱えています。ただ、昔から充実していたわけではありません。例えば医学分館に保存されている医学史の資料は、戦時中、先輩が機転を利かせて疎開させたからこそ原爆の被害を免れました。また経済学部分館には長崎学の先達・武藤長蔵博士が私財をなげうって収集した古書が書庫いっぱいにあります。それに比べ、文教キャンパスには、そうしたポリシームのものがなかった。そんな

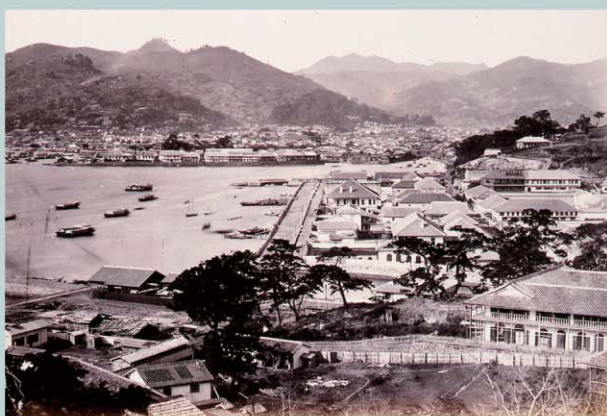
折、一九八〇年代末でしたか、「ヨーロッパで収集された長崎を中心とする日本の古写真を買わないか」という話が上がったのです。約一三〇〇枚。長崎は写真発祥の地でもあるので、ぜひこれは欲しい！と。国の予算もついたので購入できました」  
それまで、古写真を体系的に収集しているところはなかったんですか？

「個人の趣味的なものばかりで、体系的な大きな規模では皆無でした。ところが買ってカタログ化を進めようとしたものの管理や整理の仕方がわからない。そこでライデン大学の専門家に聞いたところ、写真の保存で大切なのは、光、湿度、温度の徹底管理だということ。ヨーロッパの乾いた気候が幸いして今まで残っていた写真が、温度も湿度も高い日本に持ち込まれたわけですから、取り扱いが非常にデリケート。また電子データ化も勧められました。まだ九〇年代前半でしたが、これは東京の放送教育開発センター（当時）が大型コンピューターに取り込む事業として全面協力してくれました。九〇年代後半にはインターネットの時代をにらみながら『さらに先駆けていこう』と、国際発信するために解説の英訳に踏

み切り、高速画像伝送やより高精度な画像にする技術など、一つ一つ情報を集めてクリアしていったわけです」

面白いですね！ 昔の写真の保存や活用に最先端のデジタル技術が使われている。

「はい。今度は写真の質を高め



幕末における、長崎大学の前身である「精得館」でボンベの次に学長となったボードインのコレクションのひとつ。大浦の外国人居留地の様子が鮮明に写し出されています。これらの古写真コレクションのウェブでのアクセス数は今年4月に200万件を突破。

きました。熱意が通じたんでしよう、予想よりかなりすんなりと手に入り、今では国の登録有形文化財となりました」

なんだか雪玉が転がってどんどん大きくなるような……。

「タイミングが良かったこともありますが、でも古写真自身が持つ力が大きかったのではないのでしょうか？」

写真の力ですか？

「古写真の情報量は文字資料と比べてとても多い。歴史、地理、文化、芸術。古写真はまさに文理融合のタイムマシンのことに世界中の人々が気づいた。ですから今、うちの古写真コレクションは国内外からのアクセス数が飛躍的に伸びています。今後は長崎で構築した技術やノウハウをフランスなど海外に提供していく話も進んでいます。3Dなどデジタル面での新しい展開も視野に入れていきたいですね。そもそも写真の専門スタッフが学内にいないことで、逆に専門の違う研究者と図書館員が情報共有しながらここまで来

ました」

確かに、本来の枠組みにとらわれない新しい発想と飛躍が、コレクションの完成度を高めたといえそうですね。

「今、大学は『ティーチングからラーニングへ』と言われ始めています。『教える』よりも『学ぶ、自学自習する』場へ。身近にある本物から何かを感じ取る能力は学生にも備わっている。その環境を整えて、キャンパスをまるごとミュージアム化できたら……と夢は膨らみますね。各学部にあるであろう、昔の計算機や珍しい動物の標本。そういうものが人の目に触れ始めると、面白くなりそうです。博物館という枠組みにとらわれず、可能性を探っていくのではないのでしょうか？」

まずは長崎大学にいたいどんなお宝が眠っているのかを知ることが第一歩。各キャンパスに点在する、ミュージアムや資料室に足を運んでみることから始めましょう。

#### ひめのじゅんいち

1947年生まれ。長崎大学附属図書館館長、大学院水産・環境科学総合研究科教授。国内最大級の長崎大学古写真コレクションを紹介する講演、執筆活動なども多く、2009年には朝日新聞長崎版の連載をまとめた朝日選書「龍馬が見た長崎」を上梓。



# 大学には、 お宝が いっぱい

今、大学は「教える」から  
「自学自習」の場に変化しています。  
身近にある本物から  
何かを感じ取るために  
キャンパスがまるごと  
ミュージアムになったら…  
と夢がふくらみます。



Interview

## 姫野 順一

長崎大学 附属図書館長

### 文教 キャンパス

- p 4 古写真展示室(附属図書館中央図書館1階) 幕末・明治期日本古写真コレクション、グラバー図譜
- p 8 お薬の歴史資料館(薬学部2階) 1865年創業の片峰薬局の貴重な資料
- p 9 下村脩名誉博士顕彰記念館(薬学部柏葉会館1階) ノーベル化学賞受賞の下村博士の関連資料
- p 18 附属薬用植物園(裏門横) 457種類の薬用植物とシーボルトの里帰り植物

### 坂本 キャンパス

- p 5 近代医学史料展示室(附属図書館医学分館2階) 医学伝習所時代からの近代医学資料
- p 5 創立150周年ミュージアム(正門横 良順会館1階) 医学部150年の関連資料
- p 7 熱帯医学ミュージアム(熱帯医学研究所1階) 熱帯医学に関する資料・標本
- p 9 原爆医学資料展示室(原爆後障害医療研究施設2号館1階) 原爆医学関連資料

### 片淵 キャンパス

- p 6 武藤文庫展示室(附属図書館経済学部分館2階) 武藤長蔵博士のコレクション



幕末から近代にかけて  
海を越え、時を超えて受け継がれていく  
医のこころ

# ポンペが伝える 医学への 情熱の源泉



**キュンストレーキ**  
この紙製解剖模型は、被爆当時、鉄筋コンクリートの校舎にあって全焼せずに済んだそうです。

**先** 日來崎したジャーナリストの立花隆氏も一目見たくて立ち寄ったというポンペのキュンストレーキ。この日本最古の紙製解剖模型は、原爆に遭いながら燃え残った半身が、まるで被爆マリア像のように何かを雄弁に物語っています。こちらには、そのほか杉田玄白の『解体新書』をはじめ、幕末に輸入された書物を日本人が描き写した解剖図や治療図、ケンベルやシーボルトの学術書など、江戸時代から近代にかけて医療従事者が医学に懸けた情熱が実感できる資料が、二つの部屋に渡って並んでいます。

また、この秋に注目を集めたのが、ポードインの後任マンスフェルトの訳官で『眼科要論』の訳者、佐藤方朔氏の旧蔵書です。ご子孫から長崎大学へ寄贈され、十一月一日から医学分館で公開展示を開催します。



## 『紅夷外科宗伝』

17世紀の医者、樺林鎮山著。西洋の外科技術を漢文と和文で紹介します。西洋の外科書をもとにした挿絵があり、彩色もほどこされています。



**ムラージュ**  
明治から大正にかけて制作された「ムラージュ」は、実際の患者の患部から型取りした蠟製の皮膚疾患模型。

良順会館一階で  
医学史を見渡す  
坂本キャンパスの正門を入ってすぐ右手、医学部の創立一五〇周年を機に造られた良順会館の一階にあるこのミュージアム。展示物は近代医学史料展示室と若干異なるものの、照明を抑えた落ち着いた空間が特徴です。医学史年表も見やすく整理され、創立当時のポンペの講義科目と現代のカリキュラムが対比されたパネルなど、興味深い展示もあります。

創立150周年ミュージアム tel.095-819-7007 開館平日9時~17時



## 附属図書館 医学分館 近代医学史料展示室

長崎市坂本1-12-4坂本キャンパス内 医学部分館2階 tel.095-819-7014 見学時間 平日9時~17時



見

慣れた山の稜線の下に、洋館が並び、走り抜ける人力車。緊張した面持ちの町娘がいるかと思えば、長崎で活躍した外国人たちが胸を張る――長崎大学が誇る国内最大級の古写真コレクションは、

幕末から明治にかけての長崎や全国各地の風物が手に取るようにわかる超一級の資料です。国の登録有形文化財となったボードイン・コレクションをはじめ、約七〇〇点がデータ化されており、ウェブ上で見ることができず。さらに展示室まで足を運べば、パノラマ化した幕末の長崎の街並みや、ボードイン・コレクションの精緻な複製本なども閲覧でき、臨場感もひとしお。

また同じ室内には、トーマス・グラバーの次男・倉場富三郎が長崎の画家に肉筆写生させたグラバー図譜（日本西部及び南部魚類図譜）の一部も展示されています。鮮やかな色彩にヒレのスジの本数まで正確に写し取られた図譜は、携わった人々の情熱が伝わる圧倒的な存在感で、その数、実に八〇一枚。戦後に水産学部へ寄贈され、現在は附属図書館に保管されています。



### ステレオビューアー

あらかじめ立体視用のカメラで撮影された風景写真が、立体に見えます。



### 『グラバー図譜』

1973-1976年に発行された「グラバー図譜」をすべて収録した本。魚の断面図や富三郎が書き込んだメモまで残されています。

### 傘をさす娘

頭巾や唐傘など当時の風俗が興味深いですね。今風な美人や凛々しいお侍にもお目にかかれます。



# 一枚の写真から

# 醸し出される

# 時代の香り

坂本龍馬やグラバーが実際に歩いた長崎の街  
現代でも体感できるのは  
長崎にいることの幸運のひとつに数えたい



こちらは一般公開用。図書館の3階には原本が保管されている貴重資料室があり、温度や湿度が24時間管理されています。

## 長崎大学附属図書館 中央図書館 古写真展示室



専門家の解説を聞きながら見学したい  
熱帯医学の世界  
地道な研究にまつわる秘話に  
感動と驚愕!

# 寄生虫から ウイルスまで 熱帯医学最前線

## 吸血メカニズム がわかる 蚊の模型

血を吸うための7本のパーツなど細部まで精巧に作り込まれています。

**坂**

本キャンパスの最奥、熱帯医学研究所（略して熱研）の一階に、一般市民も自由に見学できるミュージアムがあるのをご存じですか？

虫や動物の標本、寄生虫のホルマリン漬け。予備知識のないまま見るとインパクトの強さに息をのむばかりですが、事前予約すれば専門家による解説もしてもらえ、熱帯医学の奥の深さに好奇心が刺激されます。おびただしい数の蚊の標本も「網で採ったら羽が取れるので、大切に卵から育

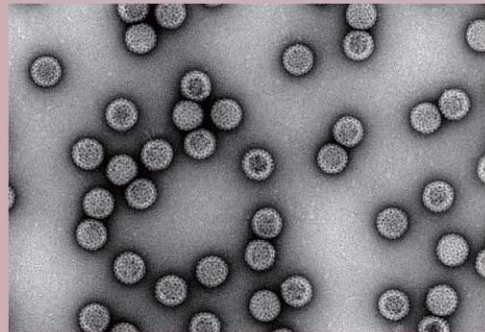
てて一番形が整った状態」のものだと聞いてびっくり！館内には二〇〇九年に東京・上野の国立博物館で行われた企画展「熱帯感染症とたたかう長崎大学」のために作ったパネルや展示物も。本物の細菌標本を見られる顕微鏡や、「BSL-4」施設（もっとも危険度の高い病原体を扱う研究施設。まだ日本では稼働していない）の模型など、感染症研究の現在から将来像までの情報を得ることができるのです。



広い空間にパネル、蚊の標本、顕微鏡などを見やすく配置。隣フロアには病原体を運ぶ衛生動物の標本が並びます。

## ウイルス類の パネル

鳥インフルエンザやエボラ出血熱、SARSなどのパネル。写真はウエストナイルウイルス。



## 陽圧防護服

これは、世界40か所にある「BSL-4」施設で研究者が着用する陽圧防護服。（使い捨てタイプ）



# 熱帯医学ミュージアム

長崎市坂本1-12-4坂本キャンパス内 熱帯医学研究所1階 tel.095-819-7868 開館平日9時～17時





年代物のひずんだガラスがはめられた陳列棚は、戦前の高商時代の博物館で使用していたもの。歴史を感じます。



左から菊池寛、芥川龍之介、武藤長蔵、永見徳太郎（長崎の篤志家で多くの文人の長崎滞在の世話をした）。このほか博士は斎藤茂吉とも大変親しかったそうで、文人達との交流資料もあり。

芥 川龍之介曰く「長崎の武藤長蔵、盛んに本を送って人を悩ます」。長崎学の三羽ガラスと言われ、経済学の前身である長崎高等商業学校の名物教授でもあった武藤博士。古書店で貴重な資料を発見すると、支払いのこなど考えず握って離さなかったという彼が、稀代の小説家には集めた本の一部を惜しげもなく送っていたというエ

# 長崎学の奇才 武藤教授の コレクション

ピソードが面白いですね。心通じるものがあつたのでしょうか。ここ武藤文庫展示室には、博士のコレクションが奥の収蔵庫までぎっしり。アダム・ス



『国富論』二巻（初版）  
革張りの装丁が威厳のある美しさ。本は芸術品でもあつたんですね。

ミス「国富論」などの洋書から、江戸時代に日本語で書かれたオランダ地図、川原慶賀の『長崎出島之図』、シーボルトの鳴滝塾の様子を伝えるのはこの一枚だけという『鳴滝塾之図』まで、貴重な絵画資料も多くあります。「学者の業績は、著書や論文だけでなく収集した資料も併せて評価すべきだ」と語っていたという博士のこだわりの一端が垣間見られます。



オランダ  
VOCマーク入り  
染付平皿

出島からもよく似た絵皿が出土されています。おそらくこれは、輸出されたものが里帰りして日本にもどってきたものを買い求められたのでしょうか。



『万国旗』  
19世紀初め、オランダ商館長プロムホフが描かせた旗の図譜。見慣れない国の旗ばかり。

数々の逸話の残る名物教授・武藤博士にとって  
歴史のうねりの中の長崎は  
どんな存在だったのでしょうか

## 附属図書館 経済学部分館 武藤文庫展示室



中

中央には、クラゲを採取した背の高い網が。よく見るとなんと手作り！下村脩博士は、大量のクラゲを採取しながら緑色蛍光タンパク質(GFP)を発見し、二〇〇八年にノーベル化学賞を受賞しました。長崎医科大学附属薬学専門部(現・長崎大学薬学部)への入学が研究者としての第一歩だったこともあり、受賞を記念して造られたこの記念館は、外部の方もよく立ち寄ります。博士の若き日の写真から、今では世界中で利用されているGFPの構造が分かりやすく説明されたパネルまで展示されています。



ノーベル化学賞を受賞した下村博士  
その研究者としての粘りに敬服しながら  
GFPにも詳しくなれる

# 下村脩名誉博士顕彰記念館

長崎市文教町1-14文教キャンパス内 柏葉会館1階 tel.095-819-2413 開館平日9時~17時

この展示室は、熱帯医学研究所の隣にあります。玄関正面、十一時二分で針が止まった柱時計に導かれるように展示室に入ると、まず目に入るのが、西森一正名誉教授が着ていた血染めの白衣。戦後六十六年の時を経て茶色く褪せていますが、今も強烈な被爆の実相を物語っています。ここでは医学的見地から長い年月をかけて研究した放射線障害のデータ解析やグラフが、急性期から後障害後期まで段階別にパネル展示され、今なお続いている研究の一端を知ることができます。

こ

の地からわずか七〇〇mの至近距離に落ちた

原子爆弾。世界で唯一の被爆した医学部を持つ長崎大学は、被ばく医療について世界の最前線を走ってきました。

被爆の実相を医学的見地に絞り込み  
解析し研究したデータ類  
被爆した大学としての  
使命が伝わってきます



場内には永井隆博士の功績や、被爆医療に尽力した調来助教授による医療データなど、貴重な資料も展示されています。

# 原爆医学資料展示室

長崎市坂本1-12-4坂本キャンパス内 原爆後障害医療研究施設2号館1階 tel.095-819-7123 開館平日9時~16時



**肥** 前長崎港船大工町——  
掛け看板に書かれた所番  
地が面白い！ 薬学部の上階、  
学生のリフレッシュルームにも  
なっているこちらには、慶応元  
（一八六五）年に創業した長崎の  
老舗薬局の古い看板や薬を調合  
する器具などが、ひっそりと並  
んでいます。寄贈元は片峰薬局。  
そう、長崎大学の片峰学長のご  
実家なのです！「懐かしいねえ。  
ああ、この薬筆筒はまだ匂いが  
残っている。僕は子どものころ  
からよく薬作りを手伝わされて  
いました。中国から輸入された  
漢方薬や、自宅の物干しで干し  
た薬草を、鍋で煎って手で混ぜ  
合わせて白で挽いて袋詰め。昔  
の薬作りは家族総出の手作業で  
すよ。特にこの人壽湯は「何に  
でも効く」とよく売れたなあ」  
精巧な天秤ばかり、オランダ  
渡りの蒸留器。一つ一つから薬  
に関わる人々の真摯な想いが伝  
わってきます。長崎にはこうし  
た老舗の薬局が多く存在し、そ  
れぞれ名を馳せていた時代があ  
ったんですね。

# 長崎のお薬 歴史探訪



教室のそばにあるので見学時は静粛に。1階事務室に一声かけて上がってください。



3



1



2



4

1少量の薬でも正確に量れる上皿天秤。2遠く大阪まで出荷していた片峰薬局の人壽湯。ほかにも老舗薬局独自の薬が展示されています。3葎町通りの両側から見えるよう、この看板が2枚吊されてきました。4100種類以上の生薬の紙が貼られた百味筆筒。学長は引き出しを開けて匂いを確認していました。

片峰学長の子ども時代は  
薬作りと共にありました  
今も残る家内制手工業時代の器具や道具類

## お薬の歴史資料館





## 古写真データベースは、 かなり社会に貢献しています。

医学分館  
学術情報サービス班

志波原智美

しばはら ともみ  
長崎大学附属図書館医学分館  
勤務。今年春まで中央図書館  
の学術情報サービス係としてメ  
ディア対応をこなした。

**赤石** だから結局、ハードとソフト、お金と人の問題は大きいですよ。特に長崎大学は人文系の学部がないので史学科などがなく、専門家を内部で養成できないというネックがあります。だから例えば絵画を集めるにしても、どういふコンセプトで体系づけて集めるかが見えないまま、今まで来てしまいました。

志波原 でも我々なりに、なるべく一般の方々にもご利用いただきたいな、という思いはあるんですよ。あえて展示室と貴重資料室を分けたのもそのためです。でも宣伝が下手で伝わりにくい。そこが反省すべきところですよ。

**船津** 正直に言います、大学の中にこういう博物館的な役割を持つ施設があることを知っている市民は、恐らく非常に少ないでしょう。私自身も最近キャンパスマップを見

て初めて知りました。それにはやはり大学構内というところ、どうしても躊躇(ちゅうちゆ)してしまう。入っているのかな？と遠慮しいですね。でも中にこれだけのものがあり、一般公開をされているというのが分かれれば足を運びますよ、きっと。私も先日、公民館の勉強会で希望者をお連れして文教キャンパスの中の資料室を何か所かご案内しました。みなさんとても興味をお持ちでしたよ。

**赤石** かつて博物館は、閉ざされた空間でした。大英博物館がいい例ですが、国の力をバックにかき集めてきた物を知識人にだけ見せてきた。それが段々と一般の人に開かれてきて、近年は施設だけでなく地域全体で産業遺産なども公開して、思いや想像力、イメージを膨らませて周遊させるような試みもされています。そう考えると、長崎大学も「地

域に根差す大学」と銘打つ以上、貴重な財産は市民に公開して活用するのが望ましいでしょう。

**船津** 十年ほど前に、当時長崎大学附属図書館長だった岡林隆敏先生が、主に大正時代の長崎の近代化遺産の研究成果を、収集した古写真のスライドを活用しながら我々のような歴史を学ぶ市民にもお話をしてくださいました。本河内高部水源地など実際に現地と一緒に رفتりしてね。それから姫野館長の古写真研究についての講演を聴く機会もあり、大変刺激的でした。長崎全体を見渡したとき、まだまだ知られていない宝がいっぱいあるんだなあ、と実感できましたね。例えばここ数年、長崎市が各家庭に呼び掛けて「おうちに眠るお宝を提供してください」と言っているけれど、あれ、展示した後どうしているんでしょう。段ボール箱にしまい込まれているのかもしれない。もったいない話です。そういうお宝を長崎大学に集めてしまうとか……。

**赤石** そうですね、そこに市民の情報や知識が生かされます。眠っている資料を集めるだけじゃない、例えば洋館の中に暮らしていた当時の市民の生

## 博物館の形態がどんどん進化している今 大学が地域にできることは何か

Akaishi Takatsugu × Shibahara Tomomi × Funatsu Yoshiumi

# 長崎大学は





長崎大学附属図書館  
経済学部分館長

### 赤石孝次

あかいし たかつぐ  
1957年生まれ。福岡市出身。  
博多祇園山笠に血がたぎる生  
粋の「博多っ子」。長崎大学附  
属図書館経済学部分館長。19  
89年より長崎大学勤務。長崎  
大学経済学部教授。

## 保存と展示、 実は二律背反なんですよ。

実に多彩で貴重な資料が長崎大学にあることが、おわかりいただけだと思います。ここで三人の方にお集まりいただき「長崎大学とミュージアムの、これまでとこれからについて、語っていただきました。

附属図書館経済学部分館の赤石孝次分館長、図書館員として長く外部への情報提供をしてきた志波原智美さん、そしてベテランの長崎さるくガイドで長崎検定一級、公民館講座の講師として長大的資料室に市民を案内した経験もある船津義海さんです。

**船津** それにしても、こうして観ると、まさに宝の山ですね。特に古写真などは実に興味深い、あんなに素晴らしいものがひっそりとあったとは……。

**赤石** ありがとうございます。ただ、たくさんある在庫をどれだけ展示に結び付けられて

いるかというところ、どうでしょう。博物館というのは、収集、保存、展示、そして研究の四本柱で成り立っています。中でも保存と展示は二律背反なんです。早い話、展示をすれば資料は傷んでしまいます。**志波原** はい。例えば図書館が管理する貴重資料の場合、私たち図書館員が取り扱うわけですが、職業柄、本と同じで、掛け軸にしても見てほしい、使ってもらいたいという意識は根底にあります。しかし、学芸員ではないので、保存に關してはそのたびごとに専門家に尋ねながらの作業です。一方で保存環境という意味では、施設面での問題はどうしてもありますね。建物が古く、湿気やカビとの闘いで……。私などは毎日一時間くらいこの作業に取られてしまう。これは各施設の職員の共通の悩みじゃないでしょうか。

### 座談会

## 赤石孝次

## 志波原智美

## 船津義海



長崎検定一級保持者  
長崎さるくガイド

医学分館  
学術情報サービス班

長崎大学附属図書館  
経済学部分館長

# 「知の貯蔵庫」



# Cho-dai SaRuKu

長大さるく



自由度が  
高く  
いいですね

緑いっぱいの  
キャンパスです!

福岡の友人を  
案内できそう

キャンパスと街をもっと知ろう  
そして誰かを案内しよう  
長崎大学さるくプロジェクト、始動!



今回、全面的に協力を買って出たのはNPO法人長崎コンプラドール(右が事務局長の田中潤介さん)。長崎さるくのガイドでもあり、県外でのまち歩きアドバイザーとしても活躍中です。

長崎大学のキャンパスとその周辺を、学生目線でまち歩き。そしてオリジナルの実用マップを作ってみようというプロジェクト「長大さるく」が始動しました。「さるく」とは、街をぶらぶら歩くという意味の長崎弁。自分の親や家族が長崎に遊びに来たときに、スイスイ案内できるように。県外からの友達に自分の大学や毎日の生活を自慢できるように。そして長大進学をめざす高校生にも興味を持ってもらえるように。そんなマップを作り隊、スタート!

第一回目は片淵キャンパス。中村真理納さんをはじめとする経済学部の学生がチャレンジしました。





長崎検定一級保持者  
長崎さるくガイド  
**船津義海**  
ふなつ よしうみ  
1937年生まれ。佐世保市出身。  
長崎さるくガイド。長崎さるくでは  
コース選定などにも関わる。「長  
崎検定1級の会」会長。長崎市  
西公民館「町歩き講座」講師。

**私はこれから極力、  
大学の中に行つてみたいと思います。**

もいつの時代のか分からない  
古写真があるんだけど」とい  
うご連絡やご相談をいただく  
ことがあるのですが、難しい  
です。寄贈を引き受けた場合は、  
利用条件や肖像権などの問題  
をクリアしていく作業も責任  
を伴いますが、マンパワーがあ  
ればなあというのが本音です  
**赤石** 私など、もともと博多  
の人間ですが、長崎に来たこ  
ろに残っていた街並みはどん  
どん壊されてしまい、後には  
石碑一本立っているだけ。そ  
れがとてもショックです。「○  
跡」と言われても、まるで  
イメージできない。

がちゃんと想像できて体験で  
きるような一角も欲しい。そ  
ういう街づくりのビジョンが、  
今はまだないのではないでし  
ょうか。

**赤石** 貴重資料の一般公開に  
しても「ここにこういうもの  
があるなんて知らなかった」じ  
ゃなくて、子どものころから  
校単位で足を運ぶことで、楽  
しさを知り、どこに何がある  
かを知っている、だからいつ  
でも興味を持ったらふらりと  
足を運べる。そんな形が望ま  
しい。欧米などはその辺がと  
ても進んでいます。日本はま  
だまだ博物館に行くのも大  
学に行くのも、<sup>オタク</sup> 枠つけて……と  
いう感じ。長崎も平和教育は  
盛んだけれど、歴史や文化教  
育の実態はかなり厳しいです  
**船津** 私はこれから極力、大  
学の中に行つてみたいと思っ  
ています。

**船津** やはり市や県など長崎  
全体が、この都市の財産をど  
う生かしていくかという視点  
を持つ必要性を強く感じますね。  
一カ所一カ所の「点」じゃない、  
「面」としてとらえていく視  
点です。そしてかつての本物

**志波原** はい、いつでもいら

# 「私たちの街の 文化資産って何だろう」 という問いから始まる連携



座談会を行ったのは、片淵キ  
ャンパスの瓊林会館。まるごと  
歴史博物館のような、クラ  
シックな佇まいです。

してください！ 長大の図書  
館は三カ所とも入り口にゲー  
トを設けて入りにくいと言わ  
れるのですが、勉強スペース  
を学生優先にしたいだけで、  
むしろ一般の方にはどんな  
来ていただき生涯学習に役立

てていただきたいです。  
**船津** 大学側も積極的に外に  
出て市民の目に触れるよう  
企画をされるといいですね。  
それを重ねることで大学と市  
民の間の距離は縮まってく  
るんじゃないでしょうか。

**赤石** 先日も新聞報道されて  
いましたが、東日本大震災で  
地域の文化資産が被災した中で、  
専門家と大学と市民やNPO  
などが文化資産の救出・保全  
を目的に地域ネットワークを  
作り上げ連携して解決しよう  
という取り組みがなされてい  
ます。これらは、非常時だけ  
でなく、普段からの情報伝達・  
集約・共有が大切です。つま  
り大学も、閉じた状態でミュ  
ージアム構想とか言ってもあ  
まり意味がない。上から目線  
で語るなんてとんでもない。  
行政だけに要望する時代でも  
ない。もっと開かれた中でつ  
ながっていった方がいいのです。  
「自分たちの街の文化資産っ  
て何だろう」という問いから  
始まり、市民や行政との連携  
の中で、我々長崎大学も有機  
的に手を結びながら、大切な「何  
か」を次の世代に受け渡して  
いきたいですね。



# A たこやき 太郎 西山店

「なぜか午後3時からしか開かないたこ焼き屋さん。小腹がすいたときは吸い寄せられます～」と榎本くん。通常350円のたこ焼きは、8、18、28日は300円。気になる営業時間は「夜が遅いのでこれ以上早く開けきれない」とのこと。  
☎095-821-5569 営15時～深1時



# B 600円 証明写真

「最近できて大助かり! これまでは公会堂近くまで撮りに行ってたし700円でした」と中村さんが大ブッシュ。学生ってバイトや学校内の申請などでけっこう証明写真使うんですね。文教キャンパスの学生に「文教キャンパスは昔から中にあるけど」と指摘され「キッ!」。



# C 喫茶 & 軽食 淑

「先生たちが常連らしいですよ」というこちら。みんなで地中海風カツライス(750円)を試食しました。トルコライスよりさっぱり、でもボリュームがすごい。なんとこの地にオープンして21年だそうで「昔は学生もおおらかで『おばちゃん、試合勝ったけん今日はタダにして』(笑)。今はみんなお行儀いいですね」だそうです。  
☎095-824-9187 営10時～21時



# 片淵2

長大の軽音楽部モモという貸スタジオ&ホール「スタジオD。!」。ときどきアーティストのライブもあり。

# D



# 煉瓦塀の路地

初期の長崎さるくのコースにもなっていたこの路地。延々20m以上続く煉瓦塀にみんなびっくり。古いお好み焼き屋さんも見つけて「今度ちゃんとして行ってみよう」と。

# 片淵と新大工町

民家の続く路地の先にはカジュアルな商店街



老舗料亭「富貴楼」。「ここを見るといつも『千と千尋の神隠し』を思い出します」と山下くん。

変わり蒸しパンが面白い「ミスター蒸しパン」。発見した日はセールの日でした〜♪

新大工町商店街はお饅頭屋さんやカステラ屋さん、団子に和菓子と甘い物のお店がいっぱい。「素通りてませーん」とするく遊女子。



榎本英樹くん

次号では文教キャンパスを探索します。

「この道、初めて歩いた!」「迷路みたいで面白いですね」と大はしゃぎ。先生たちの行きつけの喫茶店や美味しい蒸しパン屋さんなど「さるく」ならではの街ネタの発見で、これからのキャンパスライフもまた多彩になりそうです。

キャンパスの周辺は古い民家と路地が続く片淵地区。そこを抜けると活気ある新大工町商店街があります。普段はバイクなどでバス通りを行き来することの多い学生たちも「この道、初めて歩いた!」「迷路みたいで面白いですね」と大はしゃぎ。先生たちの行きつけの喫茶店や美味しい蒸しパン屋さんなど「さるく」ならではの街ネタの発見で、これからのキャンパスライフもまた多彩になりそうです。

どんとカレーしか残ってなかったりして「そのぶん、アットホームというか……。学生同士の顔はよくおぼえるし、職員さんともすぐ顔なじみになりますね」「この前は敷地内で精霊流しの船が何台も作られていました。テニスコートも一般の人が借りて楽しんでいるし、近くに住んでる人も気軽に出入りしてますよ」と、ここで過ごしている学生ならではの発言がポンポン飛び出します。







山下俊邦くん

# コンパクトな中に歴史的建築物と自然がぎゅつと濃縮



## 中庭の交流スペース

新館と本館の間には築山までしつらえた中庭とウッドテラス、テーブルの並ぶ憩いのスペースあり。



中村真理納さん

## 歴史的な 瓊林会館

今号の表紙にもなった瓊林会館。1階には高商時代の校舎の絵や模型が。さるく隊のメンバーは口々に「わー、こっちの校舎の方がよかった!」。残念ながら老朽化で建て替えられました。



文教キャンパスとは山ひとつ隔てた片淵キャンパス。ここにはそもそも歴史ある長崎高等商業学校がありました。今も高商時代の「瓊林会館」や煉瓦倉庫などの歴史的建築物が残っています。正門を入ると、中島川の源流がせせらぎ、明治の石橋を渡ってキャンパスが始まります。

「川が近いから、普通にカニが校舎内に出没します」「そう、受験の時に教室にいてぎよつとしたことも」「夏には拱橋の下にホタルが飛ぶらしいよ」とさるく隊もこの環境はお気に入り。

ところでこちらの経済学部は長大の八つの学部の中で一番学生数が多いそう。「それだけ、文教キャンパスに比べると施設の充実度がものたりないのがちょっと……ないものが多いです」「文教がうらやましい」「生協の食堂も、うっかりお昼すぎに行くとう

## 2

てるくましてたらこの甲斐で子猫2匹と遭遇!

学生たちの間では通称「開かずの倉庫」。中には収蔵品があるそうです。ツタが絡む煉瓦が美しく、夜はライトアップされて散歩道やベンチもある癒しの空間。倉庫と瓊林会館、拱橋は国の登録有形文化財に指定されています。

## 癒しの煉瓦倉庫



生協食堂「らっかりするとカレーとうどんしか残らないことも。売店のお弁当は夜は半額になります!」と耳より情報モ!

ご近所の人ま借りるらしいテニスコート



## 拱橋の秘密

手をこまねく、「拱」の字。なぜこの名が……?と調べてみると、実は中国由来。「拱橋」とは中国語でアーチ橋のこと。両手を組んだ中国式の礼「拱手」のような形だからでしょうか。明治36(1903)年生まれの歴史ある石橋です。春は桜、夏は蛍の名所!

## 3





た<sup>み</sup>身欠きフグ<sup>が</sup>となつてしま  
ますので、この美しい黄色い鰭  
や縞模様を見たことのある人は  
少ないでしょう」

安くて美味しく、顔も可愛  
いし。なんだか毒もなさそうで。  
「とんでもない、毒もトラフグ  
並ですよ。卵巣と肝臓にあるフ  
グ毒(テトロドトキシン)の強さ  
は青酸カリの一〇〇〇倍とも言  
われています。この毒は、海洋  
細菌が生産したもので、食物連  
鎖を通じて最終的にフグの体内  
に取り込まれることが分かって  
います。シマフグは、仔魚期に  
プランクトンなど、稚魚期にな  
ると貝やアミ類などを食べるの  
ですが、生後いつの時期にどの  
餌を通じてフグ毒を持ち始める  
のかは調査中です。それにこの  
鳥のくちばしのような歯にも用  
心しなければいけません。フグ  
の仲間はずが癒合して上下で計  
四枚あるのが特徴なのですが、  
鋭く強靱で、私も以前稚魚を採  
集中に手が触れて激しく噛みつ  
かれたことがあります。痛かつ  
たですよ！ その鋭い歯でハリ  
スや網を噛みちぎってしまうこ  
とで釣り人や漁業者を悩ませて  
います。いけすに入れておけば、  
お互い噛み合うほどです」  
なんと！ 毒もあつて歯も鋭  
い、天下無敵な魚ですね。

## 有明海の ゆりかごで育つ

「有明海の入りに口で孵化したシ  
マフグは、海流にのつて有明海  
北部へと運ばれます。実は、そ  
の頃のシマフグとトラフグは、  
外見からは区別がつかないほど  
良く似ているんですよ。夏にな  
ると佐賀や福岡の大きな川の河  
口域で稚魚が見られるようにな  
ります。シマフグに限らず、こ  
のあたりにはさまざまな魚の卵  
や仔稚魚が生息しています。河  
口域は、想像以上に多種類の魚  
の大切なゆりかごであることが、  
最近の調査で分かってきました。  
エサになるプランクトンがたく  
さんあつて大きな捕食者が少な  
いからでしょう。ここですくす

くと育つたシマフグが、外海に  
出て、そしてまた成熟して産卵  
できるようになると戻ってきます。  
漁は、佐賀、福岡、熊本、長崎  
とすべての県でそれぞれの海を  
回遊する季節に行われますが、  
佐賀あたりですとサイズもまだ  
数センチと小さく、長崎の南の  
方では大きなもので全長五十セ  
ンチほどの成熟したシマフグが  
水揚げされるのです」  
遺伝的に近いせいか、トラフ  
グとシマフグの雑種がみられる  
ことも、たまにあるのだとか。  
その場合、いくら売値がつく  
のか、興味深いところですよ。

### 解説 山口敦子

長崎大学水産・環境科学  
総合研究科教授  
Yamaguchi Atsuko  
東京大学大学院農学生命  
科学研究科博士課程修了。  
2000年から長崎大学。専門  
はエイやサメなど魚類学と水  
産資源学の研究。主な著書  
に『干潟の海に生きる魚たち  
—有明海の豊かさの危機』(東  
海大学出版)など。



長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。

<http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/>



## トラフグ

*Takifugu rubripes*  
画家 小田紫星

こちらは高級魚としてお馴染みのトラフグ。  
成熟するとシマフグよりずっと大きくなり、  
最大70cmに達することもあるとか。



## 西日本代表、 庶民派フグ

にっこり笑っているかのよう  
な愛嬌のある口元。美しい縞模  
様。そして学名の由来ともなっ  
ている黄色い鰭。今回ご紹介す  
る魚は、有明海でよく水揚げさ  
れる「シマフグ」です。これま  
でも何度かグラバー図譜につい  
て解説していただいていた長崎  
大学水産・環境科学総合研究科  
教授の山口敦子先生にお話を  
伺いました。

「シマフグは、このサバのよう  
な縞模様のためか、南島原では  
”サバ太郎”と呼ばれています。  
高級魚として名高いトラフグと  
同じ春から初夏にかけて、産卵  
のために外海から有明海の入り  
口付近にやってきたところをト  
ラフグとともに漁獲されますが、  
シマフグの売値はトラフグの一  
〇分の一。その身はふくよかで、  
刺し身でも食感が優しく、唐揚  
げはふんわりした口当たりでト  
ラフグより好む方も多いほどで  
す。北海道でも見られるトラフ  
グとは違い、分布域はそれほど  
広くなく、暖かい九州沿岸など  
の西日本で主に見られます。西  
日本代表の庶民派フグといった  
ところですね。ただ、市場に出  
回るときにはすでに皮をはがれ



Glover Atlas

# シマフグ

*Takifugu xanthopterus*  
画家 萩原魚仙

グラバー図譜

日本西部及び南部魚類図譜

Fishes of Southern  
& Western Japan



慣れたものなのが面白いですね。逆にユリやアジサイは、彼が持ち帰ってオランダで品種改良を重ね、今の姿になりました」

園の中を歩いてみましょう。ここには四五七種類の薬用植物が所狭しと植えられ、その中を散歩する市民の姿も見られます。植物園の管理をしている山田耕史准教授によれば、一般の方にもなじみやすいよう、入り口付近にはハーブなど身近な植物を植栽し、奥に行くほど珍しいものという配置にしているんだそうです。おや？ 片隅に奇妙な煉瓦塀。山田先生、これ、なんでしょう。

「ああ、ツタを這わせるために造った塀ですね。このツタも実はシーボルトが日本からオランダにもたらしたもので、すよ。つまりシーボルト以前にはオランダにはツタは存在せず、彼が日本から持ち帰って広まっていたのです」

なんと！ ツタの絡まる煉瓦の建物といえば欧米の建物のシンボルというイメージなのに、意外でした。

ちょうどこれからは里帰りしたイロハモミジが色づく季節。時を超え、海を越えて行き交う植物たちに会いに足を運んでみるのもいいですね。



#### シーボルト記念植物園 長崎大学附属薬用植物園内

平日は門を開放し、一般の出入りもできる薬用植物園。シーボルト記念植物園は門に入って右手エリア。ベンチもあります。春先には多くの花が咲き、季節によって楽しめます。県内の大学では唯一、大麻の原料となるケシの栽培もしており、法律により厳重に柵に囲われているのもちょっと珍しい光景です。  
開園 平日8時半～17時半

*Parthenocissus  
tricuspidata*  
Planch.

Hortus  
botanicus  
LEIDEN

ツタ (ブドウ科)

【用部】茎、根 (地錦)  
【用途】観賞用、筋肉痛、偏頭痛、  
産後の出血 (地錦)



フジ、ケヤキ、ツタにアケビにイロハモミジ……。十九世紀、出島に商館医としてやってきたシーボルトがオランダに帰国する際に日本から持ち帰った植物は約五〇〇種と言われています。そのうちおよそ半分が長い航海でしおれ、かの地にたどりついたのは二六〇種。二〇〇〇年の日蘭修好四〇〇周年を機に、オランダ・ライデン国立民族学博物館で大切に育てられていたこれら日本の植物の中から五種類が里帰りすることになり、史跡として整備された出島と、ライデン大学と友好関係にある長崎大学に分けて植えられました。今も文教キャンパスの薬用植物園には、これらの植物がいきいきと葉を茂らせています。

薬学部の田中隆准教授にお尋ねしました。

「葉草は治療に欠かせないものだったので、当時の医師は植物にも精通していました。特に博物学の素養もあったシーボルトは、かなり精力的に日本の植物を集めたようです。鳴滝塾の優秀な門人たちにも、医学の情報を教える代わりにオランダ語で植物のレポートを提出させました。まさにギブ&テイクです。しかし、シーボルトの目から見ると珍しい植物も、我々日本人には見

「もの」には物語があります。大切にしてきた人々の思いがあります。このコーナーでは、長崎大学のキャンパスに眠るお宝や芸術作品をクローズアップ。その背景を知り、好奇心をくすぐられたら、今度は本物を観に大学に足を運んでみませんか？

## 温故知新

Find new  
wisdoms through  
old things.

Volume

5

# シーボルト 記念植物園

十九世紀の長崎から旅立っていった植物が、  
今またこの地に里帰り。薬用植物園の中で  
命をつむぎながら歴史を語っています。



# 長崎大学広報誌

[チョーホー]

Choho

Vol.37

編集後記

長崎大学には、歴史的、個性的な知的財産・宝物が数多く遺されています。これまでChohoで紹介したものや、「これは?」と思える珍しいものまで、「キャンパスの中のミュージアム」として特集いたしました。芸術文化の秋。姫野教授の解説や座談会を参考に、読者の皆様には知的な探索をお楽しみいただければ幸いです。探索といえば、学生目線のプロジェクト、「長大さるく」が始動いたしました。ミュージアムの見学もかねて、長大キャンパスには是非、足をお運びください。百聞は一見に如かず。新たな発見があるかもしれません。

「グラバー図譜」が連載企画として、装いも新たに登場いたしました。魚にまつわる楽しいお話を学術的にもわかりやすい山口敦子教授の解説でご堪能ください。

(原田哲夫)

[編集・発行]

Choho企画編集会議

編集長

原田 哲夫 広報戦略本部副本部長  
工学研究科 教授

編集委員

堀内 伊吹 教育学部 教授  
吉田 高文 経済学部 教授  
池田 幸恵 水産・環境科学総合研究科 准教授  
小林 信之 医歯薬学総合研究科 教授  
堀尾 政博 熱帯医学研究所 教授  
佐々木 均 病院 教授  
深尾 典男 広報戦略本部副本部長 教授  
浅野 眞 広報戦略本部副本部長  
長友 佳織 広報戦略本部 主査  
田村 匠平 広報戦略本部

編集 川良 真理

デザイン 三浦 秀樹

TEL.095-819-2018

FAX.095-819-2156

(E-mail)

www\_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日] 2011年10月1日

プレゼントクイズ

## 長崎大学 通 クイズ

長崎大学に関する知る人ぞ知る新事実が続々登場するクイズです。  
さあ、あなたはどれが本当だと思いますか?

文教キャンパスにある生協は、パンやお弁当だけでなく  
教材や文房具類など大学ならではの独特の品ぞろえです。  
さて、ここで本当に売られているものはどれでしょう。

女性用安全靴



1

星座早見盤



2

実習用ゴーグル



3

解答は挟み込みのアンケート用紙にご記入のうえ、広報戦略本部にファクスでお送りください(アンケート内容もしっかりご記入ください)。正解者の中から抽選で5名の方に長崎県産品をプレゼント! 長大通になって、美味しい県産品をもらいましょう。

前号の  
答え

Q 文教キャンパスの薬草植物園で  
育てられているフルーツは?

①キウイ

ご覧のように、たわわに実ったキウイ。薬効もある  
そうですが、それよりも葉がよく茂るため、日陰を  
好む他の植物の日よけとして育てられています。



今回のプレゼント

本場ドイツでも高い評価を  
得ているハムとソーセージ

幕末に出島で作られていたハムの製法にこだわった「長崎火腿(ほうとい)」は、第41回長崎県特産品新作展龍馬部門最優秀賞を受賞。今回は正解者の中から5名の方に、この「長崎火腿」とソーセージ3種の詰合せをプレゼント。(提供/明治屋ハム製造所 TEL.095-822-0920)

長崎県物産館

TEL.095-821-6580 [http://www.e-nagasaki.com/contents/n\\_bussan/](http://www.e-nagasaki.com/contents/n_bussan/)



九州産豚のモモ肉を丸ごと使用した長崎火腿に、DFV(ドイツ食肉連盟)主催のコンテストでも金賞・銀賞を受賞したソーセージ3種の詰合せ(3000円セット)。



# Information

2011年10月～12月

## 長崎大学リレー講座2011 「東日本大震災後の日本を考える」

昨年大変好評だった長崎大学リレー講座。今年も10月から12月にかけて、7回にわたって行われます。プログラムは右記のとおり。「東日本大震災後の日本を考える」というテーマにおいて、各界の第一線で活躍されているオピニオンリーダーの方々が登壇、それぞれの論点で熱く語ります。一般の方々を対象にした講座ですので、お誘いあわせのうえ、ぜひご参加ください。

参加無料

会場／長崎大学中部講堂（文教キャンパス内）

詳しい内容・お申し込みは長崎大学ホームページ

<http://www.nagasaki-u.ac.jp/>

問い合わせ先／長崎大学広報戦略本部 TEL.095-819-2892



### 長崎大学リレー講座2011プログラム(予定) 開催時間18:00～19:30

- |     |   |
|-----|---|
| 第1回 | 10月28日(金)『激動の2011年をどう総括するか』<br>寺島実郎(「財」日本総合研究所理事長)              |
| 第2回 | 11月2日(水)『地球的課題への対応を問う』<br>有馬利男(グローバル・コンパクト・ボード・ジャパン議長)          |
| 第3回 | 11月11日(金)『巨大災害と社会基盤:その「進化」と課題』<br>家田 仁(東京大学大学院工学系研究科教授)         |
| 第4回 | 11月24日(木)『社会と科学・技術との新たな関係を問う』<br>村上陽一郎(東洋英和女学院大学学長)             |
| 第5回 | 12月2日(金)『現場力の発揮と経営トップの在り方』<br>鈴木久仁(あいおいニッセイ同和損害保険社長)            |
| 第6回 | 12月8日(木)『ポスト3/11の日本再生プログラム』<br>内田 樹(神戸女学院大学名誉教授)                |
| 第7回 | 12月16日(金)『大学が担うべき役割』<br>基調講演:金澤一郎(宮内庁長官官房皇室医務主管)<br>パネルディスカッション |



## 長大祭2011&ホームカミングデー

長崎大学の秋の風物詩、長大祭。今年は11月19日(土)・20(日)の2日間にわたって実施されます。学生たちが自ら企画した模擬店やステージイベントなど、盛りだくさん。また長大祭に合わせて行われる卒業生のみなさんをお招きするイベント「ホームカミングデー」も、11月19日(土)に開催決定。今年は経済学部卒業生でもある中村法道長崎県知事の講演や、長崎マンドリンクラブOB&OG会の初ステージも予定されています。

## Topics



日本初の西洋式病院となった、小島の養生所。

## 長崎大学病院 開院150周年記念事業

今年は長崎大学病院が開院されて150年という記念すべき年です。そこで記念日である9月20日を中心に、記念式典や講演会、茶会など、さまざまな記念行事がとり行われました。